

資料編

- 162 稲城市のあゆみ
- 167 第五次稲城市長期総合計画の策定経過
- 168 2030年の稲城を描く市民会議
- 170 稲城市長期総合計画審議会
- 172 市議会 長期総合計画検討特別委員会名簿
市議会 長期総合計画基本構想審査特別委員会名簿
- 173 地区別人口推計
- 174 施策別関連SDGs項目と主な担当課一覧表



稲城市のあゆみ

西暦	和暦	主なできごと
1889	明治22	町村制施行により、6ヵ村が合併して「稲城村」となる
1897	30	稲城村役場が建設される
1919	大正8	稲城村に電灯が灯る
1927	昭和2	南武鉄道（現：JR南武線）登戸～大丸間開通（大丸、稲城長沼、矢野口3駅設置）多摩川果実生産組合連合会発足
1929	4	南武鉄道・川崎～立川間全線開通
1930	5	稲城郵便取扱所開所 鶴川街道が拡張される
1935	10	多摩川原橋開通 多摩川渡船（矢野口の渡し）解散
1937	12	稲城郵便取扱所が稲城郵便局に昇格
1938	13	火工板橋火薬製造所多摩分工場（後の火工板多摩火薬製造所）操業開始
1942	17	是政橋開通 （是政の渡し、押立の渡しが廃止）
1944	19	稲城村農業会設立
1946	21	稲城村国民健康保険直営病院設置 火工板多摩火薬製造所を米軍が接收し、米空軍の多摩弾薬庫となる
1947	22	学制の改革により稲城第一小学校（東長沼）、稲城第二小学校（坂浜）、稲城中学校（現：稲城第一中学校：百村）誕生
1948	23	稲城村農業協同組合設立 稲城村消防団自治体消防として発足
1949	24	押立及び常久の一部が北多摩郡多磨村（現：府中市）から稲城村に編入
1952	27	稲城村教育委員会設置
1953	28	稲城病院坂浜診療所開設
1956	31	稲城第三小学校開校（大丸）
1957	32	4月1日『町制施行』（人口10,145人/1,940世帯） 是政橋が鉄筋コンクリート橋となる 稲城町庁舎落成
1960	35	簡易水道事業開始
1961	36	町道の一部が初めて舗装される
1963	38	南武線（登戸～稲城長沼間）複線化

西暦	和暦	主なできごと
1964	昭和39	多摩川衛生組合（ごみ処理）設立（稲城、狛江、多摩の三町により事務組合設立）
1965	40	上水道事業着工 多摩ニュータウン事業が都市計画決定 多摩川衛生組合ごみ焼却炉完成
1966	41	南武線全線複線化 給水場を大丸に設置し、初めての給水開始
1967	42	町章（現：市章）制定、町制10周年 稲城多摩衛生組合（し尿処理）設立（47年に多摩川衛生組合と合併して、現在の多摩川衛生組合となる） 常備消防稲城町消防本部設置
1968	43	稲城町体育協会発足 稲城町工業会発足
1969	44	町立保育園開園（旧：第一保育園：矢野口） 第1回町民体育大会開催 第1回町民文化祭開催
1970	45	稲城消防署発足 （職員19人、ポンプ車1台、救急車1台） 稲城第四小学校開校（押立） 多摩川緑地公園開設（矢野口） 町で初めての都市計画道路2・2・8号線（現3・4・17号線：平尾）一部開通 稲城町役場平尾出張所開設 平尾団地入居開始 稲城第五小学校開校（平尾） 稲城町都市計画審議会発足
1971	46	町立学校給食センター完成 町立稲城中央病院新築（鉄筋化） 稲城町社会福祉協議会発足 京王相模原線が京王よみうりランド駅まで開通 稲城町立学童保育所設置 多摩ニュータウン稲城地区の事業が承認 11月1日『市制施行』（人口36,800人、11,999世帯） 平尾～市役所間バス路線開通 第1回産業まつり開催
1972	47	第二保育園開園（東長沼）、児童館開館 少年キャンプ村始まる（矢野口） 稲城第二中学校開校（坂浜）
1973	48	多摩川児童交通公園完成 東京都三市収益事業組合設立、江戸川競艇を開催 第1回稲城市スポーツ大会開催 中央文化センター（公民館、図書館）開館（東長沼） 市の木「イチヨウ」、市の花「梨」を制定

西暦	和暦	主なできごと
1974	昭和49	稲城消防署新庁舎完成 広報無線放送開始 稲城市上水道事業が東京都に統合 市営プール開設（大丸） 梨「稲城」の栽培が始まる 京王相模原線が多摩センターまで開通（稲城駅、若葉駅開設）
1975	50	稲城市長期総合計画・基本構想策定 平尾～市立病院間バス路線開通 稲城第六小学校開校（大丸） 第二文化センター（公民館、児童館、老人福祉館、図書館）開館（矢野口） 北緑地公園開設 第1回稲城市芸術祭開催 第三保育園開園（坂浜） 京王よみうりランド駅前土地区画整理組合設立認可 平尾土地区画整理組合、稲城第一土地区画整理組合設立認可
1976	51	第1回市民体カづくりマラソン大会開催 稲城市新生活運動推進協議会結成 稲城第七小学校開校（矢野口） 稲城第八小学校開校（平尾） 第1回市民水泳大会開催 雨水ポンプ場完成 第四保育園開園（大丸） 第五保育園開園（平尾） 長期総合計画・前期基本計画策定
1977	52	都立稲城高校開校（坂浜） 稲城第三中学校開校（矢野口）
1978	53	多摩川衛生組合に不燃・粗大ごみ破砕機導入 稲城中央土地区画整理事業の事業認可 高尾ぶどうの栽培が軌道にのる
1979	54	第三文化センター（公民館、児童館、図書館）開館（平尾）
1980	55	第1回多摩川清掃デー開催 稲城市高齢者事業団が発足（現：シルバー人材センター）
1981	56	市立病院にCTスキャナー導入 消防署に化学消防車導入 市役所新庁舎完成（百村7番地から現在地に移転） 市制施行10周年を記念し市民憲章を制定、自治功労・一般表彰始まる 公共下水道汚水管理設工事開始 稲城市土地利用基本計画策定 京王よみうりランド駅前土地区画整理事業完了

西暦	和暦	主なできごと
1982	昭和57	矢野口コミュニティ防災センター完成 市制10周年記念公園（吉方公園）完成 都立稲城保健相談所開所 福祉センター開館（障害者の通所訓練事業開始） 平尾土地区画整理事業完了
1983	58	教育相談所開設 南山スポーツ広場利用開始 第四文化センター（公民館、児童館、図書館）開館（東長沼） 平尾～稲城駅間バス路線開設 多摩ニュータウン稲城地区の造成工事に着手
1984	59	市立病院医事課窓口コンピュータ設置 三沢川分水路完成（三沢川坂浜取入口～多摩川） 稲城市民憲章推進協議会発足 チュニジア共和国大使から絵画の寄贈、この後、学校間の文化交流が始まる 東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合・谷戸沢処分場開設 長期総合計画・後期基本計画策定
1985	60	稲城第四中学校開校（押立） 市の人口が5万人を超える（5月15日） 中国北京市区県友好代表団が市を訪問 下水道の供用開始 坂浜コミュニティ防災センター完成
1986	61	稲城駅～新百合ヶ丘駅間バス路線開通 特別養護老人ホーム「正吉苑」開設（平尾） 住民登録事務の電算化、住民情報システム稼働 坂浜西地区土地区画整理事業（59ha）が東京都第二次長期計画に位置付けされる 既成市街地整備基本計画策定
1987	62	大丸親水公園完成 第六保育園開園（大丸）
1988	63	多摩ニュータウン向陽台地区入居開始 向陽台小学校・稲城第五中学校開校（向陽台） 防災行政無線の運用開始
1989	昭和64 平成元	稲城村生誕百年（4月1日） 駒沢女子短期大学開校 市立図書館にコンピュータ導入 榎戸土地区画整理事業の事業認可
1990	2	女性行動計画策定 「ガーデンシティ多摩」を向陽台で開催 町界町名地番整理事業を施行（平尾地区） 第二次長期総合計画・基本構想策定 情報公開制度開始 坂浜西地区土地区画整理事業（215ha）が東京都第三次長期計画に位置付けされる

西暦	和暦	主なできごと
1991	平成3	消防署に梯子付消防ポンプ車導入 (仮称)第二多摩川原橋(現:稲城大橋)整備事業が都市計画決定 京王相模原線が橋本まで開通 東京南農業協同組合発足 老人保健施設「ヒルトプロマン」が稲城台病院に開設 平和都市宣言議決 第二次長期総合計画・基本計画策定 稲城中央公園開設 野球場開設(稲城中央公園内) 総合グラウンド開設(稲城中央公園内) 市制施行20周年 北海道女満別町と姉妹都市提携 稲城第一土地区画整理事業完了 大丸北土地区画整理組合設立認可
1992	4	城山小学校開校(向陽台) 上谷戸大橋完成 稲城駅、若葉台駅に快速電車停車 いなぎグリーンウェルネス財団設立 総合体育館開館(稲城中央公園内) 城山文化センター(公民館、児童館)開館(向陽台) 堅台土地区画整理組合設立認可
1993	5	矢野口駅周辺土地区画整理事業の事業認可 南多摩駅周辺土地区画整理事業の事業認可 稲城長沼駅周辺土地区画整理事業の事業認可 第二次稲城市土地利用基本計画策定 多摩川衛生組合から多摩市が脱退し、新たに府中市が加入し新体制となる 消防署に救急救命士が同乗する高規格救急車が配備 J R南武線連続立体交差事業が認可 稲城中央土地区画整理事業完了 堂ヶ谷戸土地区画整理事業の事業認可
1994	6	稲城市人材バンク事業開始 百村土地区画整理事業の事業認可 百村コミュニティ防災センター開設 在宅介護支援センター事業開始
1994	6	矢野口松葉地区に東京都の稲城ポンプ場完成 ごみ減量化推進全国大会で国からクリーンリサイクルタウンに選定される リサイクルショップ開設
1995	7	稲城駅～長峰間バス運行開始 多摩ニュータウン長峰地区入居開始 特別養護老人ホーム「いなぎ苑」開設(百村) 長峰小学校開校(長峰) 稲城大橋有料道路開通 中国四川省稲城県訪日団が訪問

西暦	和暦	主なできごと
1996	平成8	向陽台地区が都市景観大賞建設大臣賞を受賞し都市景観100選に選ばれる 大丸南土地区画整理組合設立認可 消費者ルーム開設(百村:首都圏コープ事業連合稲城事務センター内) 行政改革大綱を決定 第二次長期総合計画・修正基本計画策定 大丸北土地区画整理事業完了 男女平等推進いなぎプラン(新女性行動計画)、Inagiあいプラン(稲城市生涯学習推進計画)策定
1997	9	東京都稲城保健相談所の業務の一部を市へ移管し、保健センターとして開設 J R南武線連続立体交差事業に着手 特別養護老人ホーム「ひらお苑」開設(平尾) 稲城中央公園「くじら橋」開通 堂ヶ谷戸土地区画整理事業完了
1998	10	稲城第三(現:若葉台)公園多目的広場開設 東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合・ニッ塚処分場開設 多摩川衛生組合新工場完成(150t炉3基で稼働) 市立病院新病棟開業・業務開始 平尾南土地区画整理組合設立認可 稲城市消防団50周年、稲城市消防本部開設30周年記念
1999	11	多摩ニュータウン若葉台地区入居開始 稲城市役所若葉台出張所開設 堅台土地区画整理事業完了 若葉台小学校・稲城第六中学校開校(若葉台) 第二給食調理場開設
2000	12	「まちをきれいにする市民条例」制定 玉川大学と教育活動の全面提携を結ぶ 稲城市公式ホームページ開設 第三次長期総合計画・基本構想策定
2001	13	市制施行30周年を迎える(人口70,033人、28,186世帯) ヴェルディ川崎東京移転、稲城を本拠地に 第三次長期総合計画・基本計画策定 第二次行政改革大綱・実施計画を決定 子ども家庭支援センター開設(向陽台) クリーンセンター多摩川と市立病院間の余熱利用温水システム竣工
2002	14	稲城市循環バス「iバス」本運行開始 第1回 I のまちいなぎ市民祭開催 旧稲城第五小学校と旧稲城第八小学校の統合により平尾小学校開校(平尾)

西暦	和暦	主なできごと
2003	平成15	はつらつワーク稲城を開設し、55歳以上の就業希望者の職業紹介事業を開始 いなぎ I C カレッジ開講 平尾南土地区画整理事業完了
2004	16	市立病院アドボカシー相談室開設 「ふれんど平尾(旧:稲城第八小学校)」開設 家庭ゴミ有料化
2005	17	地域振興プラザ開館(東長沼) J R南武線連続立体交差事業第一期工事完了 若葉総合高校開校(坂浜)
2006	18	中央図書館・城山体験学習館開館(向陽台) 上谷戸緑地体験学習館開館(若葉台) 市立学校アドボカシー相談室開設 北海道大空町(女満別町と東藻琴村の合併により誕生)と姉妹都市提携 大丸南土地区画整理事業完了 南山東部土地区画整理組合設立認可 第三次行政改革大綱・実施計画を決定 「稲城の梨」が特許庁から地域ブランドに認定される 多摩川原橋が4車線に拡幅
2007	19	地方自治法施行60周年総務大臣表彰受賞 稲城市が国に提案した介護支援ボランティア制度が実現 上谷戸親水公園が国土交通省の「手づくり郷土(ふるさと)賞」を受賞 南多摩尾根幹線開通 消防団災害支援団員制度が発足
2008	20	京王線沿線7市の図書館相互利用開始 市民参加型の「農業体験農園」が市内2園で始まる お酒「みのり」、「梨ワイン」に続き稲城の地場産「梅ワイン」が販売開始し、三兄弟が出そろう
2009	21	複合施設 i プラザ開館(若葉台) 市税等のコンビニエンスストア納付開始 市内初の認定こども園開園 よみうりV通り完成
2010	22	介護支援ボランティア制度の実践活動により日本ヘルスサポート学会賞を受賞 事業仕分けを実施 稲城大橋無料化 上平尾土地区画整理組合設立認可 第四次長期総合計画・基本構想策定

西暦	和暦	主なできごと
2011	平成23	市制施行40周年を迎える(人口85,229人、36,048世帯) 第四次長期総合計画・基本計画策定 市制施行40周年を記念して稲城市イメージキャラクター「稲城なしのすけ」誕生 東日本大震災発災直後からの福島県相馬市への救助活動等が評価され、稲城市消防本部が総務大臣表彰を受賞 中島ゆうし保育園開園(初の公立保育園民営化) 多摩都市計画道路3・3・7号線交通開放(是政橋から川崎街道を結ぶ新設道路)
2012	24	健康プラザ開業(大丸) 市立病院健診センター開設(大丸) 名誉市民制度創設 市民栄誉賞制度創設 稲城・府中墓苑組合設立 小田良土地区画整理組合設立認可
2013	25	J R南武線上り線川崎方面の高架化完了し「踏切の無いまち稲城」が誕生 発達支援センター「レスポーいなぎ」と教育センターをふれんど平尾内に併設 稲城なしのすけがゆるキャラグランプリで東京都第1位を獲得(全国第30位)
2014	26	i バス第1期見直し路線運行開始 放課後子ども教室を小学校8校で開始
2015	27	稲城長峰スポーツ広場開設 南山小学校開校(矢野口) 公営稲城・府中メモリアルパーク開苑 福島県相馬市、長野県野沢温泉村と友好都市提携 子ども家庭支援センター本郷分室開設(東長沼) 稲城押立第一土地区画整理事業完了 メカニックデザイナー大河原邦男プロジェクト開始
2016	28	若葉台駅～南多摩駅間バス路線開通 成田・羽田空港への連絡バスが稲城駅・若葉台駅乗り入れ いなぎ発信基地ペアテラス開業 市制施行45周年を記念して市の鳥「チョウゲンボウ」制定 市道初のトンネルとなる上平尾トンネルが開通 いなぎFree Wi-Fi運用開始
2017	29	稲城消防署上平尾消防出張所開所 i バス第2期見直し路線運行開始 市制施行45周年を記念して「稲城市」、「INAGI CITY」のロゴタイプ制定 各種証明書のコンビニ交付開始

第五次稲城市長期総合計画の策定経過

西暦	和暦	主なできごと	西暦	和暦	主なできごと
2018	平成30	路上喫煙の制限に関する条例施行 稲城市観光協会設立 稲城市消防団発足70周年、稲城市消防本部 開設50周年記念 消防団が総務省消防庁長官表彰旗受賞			
2019	平成31 令和元	住所整理の実施により平尾四丁目誕生 小田良トンネル、坂浜平尾線が開通 いなぎペアパーク開設			
2020	2	新型コロナウイルス感染症対策本部の設置 (市立小中学校の臨時休校、保育園・学童 クラブの臨時休業、公共施設の閉鎖等) 第五次長期総合計画・基本構想策定 GIGAスクール構想の実施			

1 策定経過

【平成30年度】

- ・「(仮称)第五次稲城市長期総合計画の策定について」を決定
- ・稲城市長期総合計画条例(平成30年稲城市条例第14号)が市議会で可決され、制定・施行
- ・稲城市長期総合計画庁内検討委員会を設置
- ・2030年の稲城を描く市民会議を設置

【平成31年度】

- ・団体別懇談会を実施
- ・市民意識調査を実施
- ・2030年の稲城を描く市民会議から市長へ提言
- ・地区別懇談会を実施
- ・稲城市長期総合計画審議会を設置し、(仮称)第五次稲城市長期総合計画について、市長から諮問

【令和2年度】

- ・稲城市長期総合計画審議会から市長へ答申
- ・第五次稲城市長期総合計画基本構想が市議会で可決
- ・第五次稲城市長期総合計画基本計画を策定
- ・第五次稲城市長期総合計画実施計画を策定

2 稲城市長期総合計画条例の制定

市が、市政に関する長期的かつ総合的な計画を策定することにより、市の目指すべき将来像を明らかにするとともに、安定的かつ計画的なまちづくりを推進することを目的として、稲城市長期総合計画条例を制定。

3 市民の参加

稲城市長期総合計画条例第5条に規定する市民が参加する機会を、次のとおり様々な形で設け実施。

- (1) 2030年の稲城を描く市民会議
- (2) 市民意識調査の実施
- (3) 各種懇談会の実施
 - ① 地区別懇談会(市内全10地区で実施、参加者131人)
 - ② 団体別懇談会(13団体と実施、参加者134人)
- (4) 広報・ホームページを活用した「2030年の稲城に向けたご提案」の募集(23件)

4 稲城市長期総合計画審議会

公募の市民、各種団体の推薦者、各分野に識見を有する者や、学識経験者、市の職員からなる20名の委員が、市長からの諮問により、基本構想の策定に関する事項等について審議し答申。

5 稲城市長期総合計画庁内検討委員会 24回開催

長期総合計画を、市民の意見を踏まえ組織的かつ総合的に策定するため、副市長・教育長・部長(相当職を含む。)で構成する委員会を設置。また、委員会に専門部会を設置。

総論

基本構想

基本計画

1 子育て・教育・文化

2 保健・医療・福祉

3 環境・経済・観光

4 都市基盤整備・消防・防犯

5 市民・行政

資料編

【2030年の稲城を描く市民会議】

市民を主たる構成員とする会議を設置しました。会議では、2030年代の稲城市の将来像について、市民の視点から14回にわたり自由な議論を行ない、『わたしたちが描くまちの姿～10の暮らしたいまちを通してみえてきた3つの姿～』を作成し、市長に提言していただきました。

① 参加者

市内在住・在勤・在学の16歳以上を対象に参加者を公募し、人材バンクや青年ワーカー、駒沢女子大学からの参加を含めて23人の参加者となりました。

市内全10地区から各1人以上、10歳刻みで10代から80代までの全年代から各1人以上、男性12人、女性11人の参加がありました。

2030年の稲城を描く市民会議 参加者名簿

井川 眞知子	島 正夫	戸谷 寿美
磯村 亜希子	所澤 和代	長井 陽海
太田 慶彦	末松 妙子	中倉 美奈子
加藤 拓也	杉村 隆行	西脇 智子
川畑 一夫	須田 勉	萩原 志帆
工藤 耕平	隅田 梓紗	早川 一樹
小島 健太郎	田中 明子	森崎 美月
境 剛一	冨永 順次郎	

平成30年8月2日会議発足時（五十音順）

② 会議の開催（全14回）

第1回 平成30年8月2日（市長あいさつ、自己紹介、説明等）

第2回 平成30年8月31日（市民会議の進め方、「2030年、あなたはどんなまちに暮らしていますか？」をテーマに分散会）

第3回 平成30年9月28日（今後話し合うテーマの決定、小・中学生アンケートの内容について）

第4回 平成30年10月12日（テーマ別分散会討議）

第5回 平成30年11月2日（テーマ別分散会討議）

第6回 平成30年11月30日（テーマ別分散会討議）

第7回 平成30年12月21日（テーマ別分散会討議）

第8回 平成31年1月25日（小・中学生アンケート結果について、12のテーマ振り返り）

第9回 平成31年2月15日（提言書（素案）について）

第10回 平成31年3月15日（提言書（素案）について）

第11回 平成31年4月19日（提言書（案）の決定）

第12回 令和元年5月31日（提言書（案）への市民意見公募の結果について）

第13回 令和元年6月14日（「2030年の稲城を描く市民会議提言書」の完成）

第14回 令和元年6月28日（2030年の稲城を描く市民会議 市長へ提言）

③ 『みんなの稲城2030年アンケート』の実施

2030年の稲城を描く市民会議での議論に小・中学生の意見を取り入れるため、市立小学校5・6年生、市立中学校1・2・3年生を対象に『みんなの稲城2030年アンケート』を実施しました。4,021件の回答がありました。

④ 提言書案への市民意見公募の実施

「2030年の稲城を描く市民会議提言書」を作成するにあたり、広く市民の意見を聞くため意見公募を実施し、内容について検討した上で提言書を完成させました。

稲城市長 高橋 勝浩 様

『わたしたちが描くまちの姿』について（提言）

2030年の稲城を描く市民会議では、23人の参加者で2030年の稲城の姿について話し合ってきました。「2030年、あなたはどんなまちに暮らしていますか？」というキーワードから将来の稲城の姿を考え始め、話し合うテーマをみんなで出し合い、話し合いを重ねました。子ども達はどんな未来を思い描いているのかを知るために、『みんなの稲城2030年アンケート』も実施しました。

話し合った意見、子ども達の意見をまとめて提言書の案を作成し、3度にわたって大きく見直しました。市民に広く意見公募も行いましたし、私達参加者でも様々な意見が出ました。

そうして、まとめた、私達が描くまちの姿です。

10の暮らしたいまちを通してみえてきた3つの姿

市民の力が活躍するまち

コミュニティが活きるまち

ほどよく田舎ほどよく都会なまち

この中に記されたひとつひとつが、私達23人の言葉でもあります。

2030年の稲城に向けて、ここに提言します。

令和元年6月28日

2030年の稲城を描く市民会議



2030年の稲城を描く市民会議 令和元年6月28日

【稲城市長期総合計画審議会】

稲城市長期総合計画条例第6条第1項の規定により、基本構想の策定に関する事項等について調査及び審議する市長の附属機関として設置しました。4回の全体会議と市内視察、分野別の3つの分科会を設置して基本構想の策定に関する事項等について審議の上、市長に答申いただきました。

① 委員

公募の市民、2030年の稲城を描く市民会議からの推薦者、市民を代表する者、福祉に関し識見を有する者、教育に関し識見を有する者、地域活動に関し識見を有する者、環境に関し識見を有する者、都市計画に関し識見を有する者、市民協働に関し識見を有する者、学識経験者及び市の職員からなる委員20人で構成。

稲城市長期総合計画審議会名簿

区分	推薦団体等	役職	氏名
(1)市民を代表する者	2030年の稲城を描く市民会議		長井 陽海
	公募		鈴木 道江
	公募		上沼 光夫
	公募		浅井 充子
	公募		高橋 達郎
	稲城市農業委員会		松本 一宏
	稲城市商工会		進藤 典吾
	稲城市社会教育委員の会議		渡邊 真砂子
	稲城市消防団		城所 達也
(2)福祉に関し識見を有する者	稲城市民生児童委員協議会	副会長	原田 正行
(3)教育に関し識見を有する者	稲城市教育委員会		今泉 浩史
(4)地域活動に関し識見を有する者	稲城市自治会連合会		佐久間 修
(5)環境に関し識見を有する者	稲城市自然環境保全審議会		横田 比佐夫
(6)都市計画に関し識見を有する者	稲城市都市計画審議会		市古 太郎
(7)市民協働に関し識見を有する者	特定非営利活動法人市民活動サポートセンターいなぎ		野口 貴美子
(8)学識経験者	駒沢女子大学教授	会長	糟谷 恵次
	駒沢女子短期大学講師		今井 大二郎
	東京農工大学准教授		佐藤 敬一
	日本大学教授		福島 康仁
(9)市職員	市副市長		石田 光広

※令和元年11月11日委嘱時

② 会議の開催（全4回・市内視察1回）

第1回 令和元年11月11日（市長から諮問、自己紹介、説明等）

第2回 令和2年1月8日（説明）

第3回 令和2年1月27日（説明）

第4回 令和2年3月27日（基本構想 施策の大綱について審議）

※令和2年度に予定していた会議（全5回）は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。文書やメール等により意見集約と確認を繰り返し、答申をまとめた。

市内視察 令和2年2月3日

③ 分科会の設置

分野別の3つの分科会を設置し、分科会ごとに4回開催し、基本構想の策定に関する事項等について専門的な視点から審議を行ないました。

分科会①子育て・教育・保健・医療・福祉分野

分科会②環境・経済・観光・都市基盤整備・消防・防犯分野

分科会③市民・行政分野

分科会名簿

分科会①	分科会②	分科会③
浅井 充子	鈴木 道江	長井 陽海
高橋 達郎	松本 一宏	上沼 光夫
渡邊 真砂子	進藤 典吾	佐久間 修
原田 正行	城所 達也	野口 貴美子
今泉 浩史	横田 比佐夫	福島 康仁
今井 大二郎	市古 太郎	石田 光広
	佐藤 敬一	

④ 答申案への市民意見公募の実施

答申するにあたり、広く市民の意見を聞くため意見公募を実施し、内容について検討した上で、答申書を完成させました。

⑤ 答申

令和2年6月26日 会長、副会長から市長に答申しました。



【市議会 長期総合計画検討特別委員会名簿】

委員長	北浜 けんいち
副委員長	榎本 久春
	武田 まさひと
	中田 中
	岡田 まなぶ
	川村 あや
	池田 英司
	つのだ 寛美
	坂田 たけふみ
	梶浦 みさこ

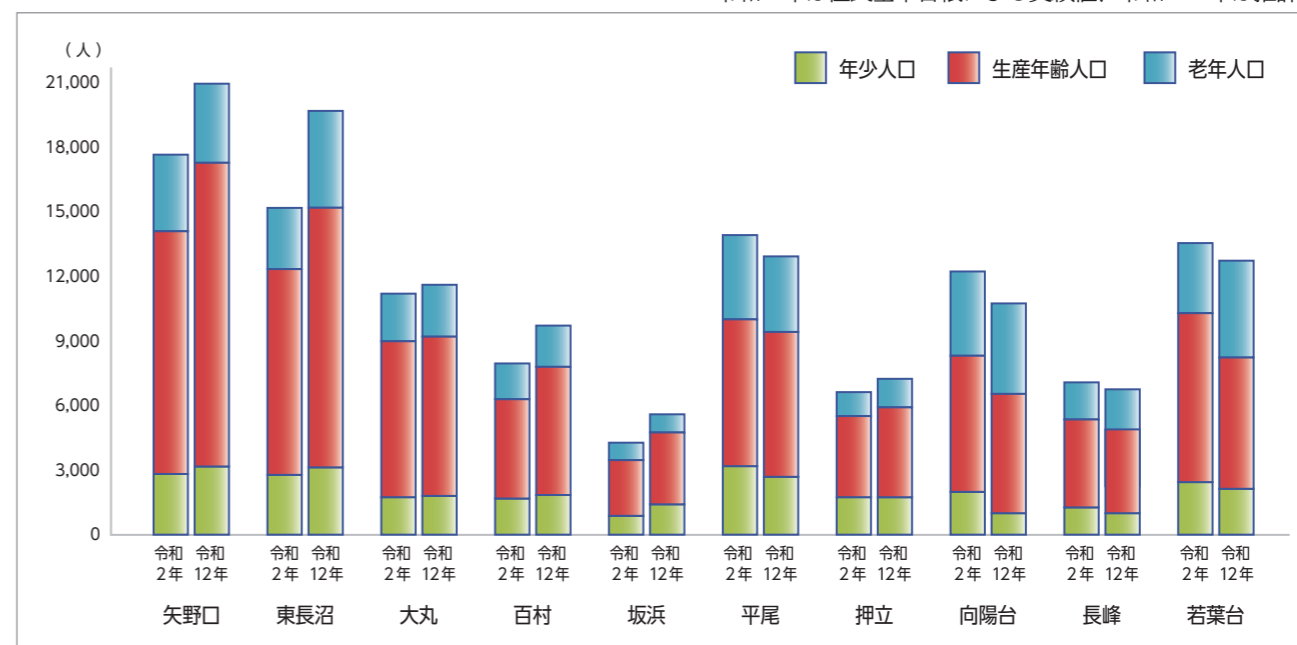
【市議会 長期総合計画基本構想審査特別委員会名簿】

委員長	北浜 けんいち
副委員長	榎本 久春
	いそむら あきこ
	村上 洋子
	武田 まさひと
	中田 中
	鈴木 誠
	あらい 健
	山岸 太一
	田島 きく子
	岡田 まなぶ
	角田 政信
	川村 あや
	池田 英司
	岩佐 ゆきひろ
	佐藤 しんじ
	市瀬 ひさ子
	つのだ 寛美
	中山 賢二
	坂田 たけふみ
	梶浦 みさこ

地区別人口推計

地区	年	年少人口		生産年齢人口		老年人口		合計（人）
		人数（人）	構成比	人数（人）	構成比	人数（人）	構成比	
稲城市	令和2年	13,389	14.6%	58,743	64.1%	19,574	21.3%	91,706
	令和12年	13,542	13.9%	61,425	63.1%	22,384	23.0%	97,351
矢野口	令和2年	2,630	15.3%	11,422	66.3%	3,163	18.4%	17,215
	令和12年	2,919	14.2%	14,126	68.5%	3,576	17.3%	20,621
東長沼	令和2年	2,379	16.4%	9,619	66.4%	2,493	17.2%	14,491
	令和12年	2,934	17.2%	11,294	66.3%	2,810	16.5%	17,038
大丸	令和2年	1,150	12.2%	5,955	63.4%	2,287	24.4%	9,392
	令和12年	1,300	13.3%	6,239	63.7%	2,260	23.1%	9,799
百村	令和2年	877	16.5%	3,452	65.0%	979	18.4%	5,308
	令和12年	1,104	16.9%	4,245	65.1%	1,172	18.0%	6,522
坂浜	令和2年	444	14.4%	1,913	61.8%	736	23.8%	3,093
	令和12年	1,016	22.0%	2,905	63.0%	687	14.9%	4,608
平尾	令和2年	1,632	13.6%	6,659	55.4%	3,731	31.0%	12,022
	令和12年	1,264	11.6%	6,183	56.8%	3,445	31.6%	10,892
押立	令和2年	723	15.0%	2,992	62.0%	1,114	23.1%	4,829
	令和12年	767	15.1%	3,297	65.0%	1,006	19.8%	5,070
向陽台	令和2年	1,105	12.4%	5,293	59.4%	2,506	28.1%	8,904
	令和12年	508	6.8%	3,905	52.7%	2,999	40.5%	7,412
長峰	令和2年	661	14.6%	2,848	62.8%	1,026	22.6%	4,535
	令和12年	581	13.4%	2,383	54.8%	1,384	31.8%	4,348
若葉台	令和2年	1,788	15.0%	8,590	72.1%	1,539	12.9%	11,917
	令和12年	1,148	10.4%	6,847	62.0%	3,045	27.6%	11,041

(注) 端数処理の関係上、合計が合わない部分があります。
4月1日の人口。
令和2年は住民基本台帳による実績値、令和12年は推計値。



施策別関連SDGs項目と主な担当課一覧表

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	主な担当課	
1. 貧困をなくそう																			
2. 飢餓をゼロに																			
3. すべての人に健康と福祉を																			
4. 質の高い教育をみんなに																			
5. ジェンダー平等を実現しよう																			
6. 安全な水とトイレを世界中に																			
7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに																			
8. 働きがいも経済成長も																			
9. 産業と技術革新の基盤をつくろう																			
第1章 子育て・教育・文化・暮らしを輝かせるまち																			
第1節 育ち育てる力の充実																			
1 育ち育てる環境の充実				●	●													●	子育て支援課、子ども家庭支援センター課、児童青少年課、生涯学習課
2 育ち育てる相談・支援体制の充実	●		●	●														●	子育て支援課、子ども家庭支援センター課、健康課
3 青少年の健全育成								●										●	児童青少年課
第2節 生きぬく力の育成																			
1 義務教育の内容の充実				●	●													●	指導課
2 教育環境の充実				●								●							教育総務課、学務課、学校給食課
第3節 生涯にわたる学習活動と文化・芸術の振興																			
1 生涯学習の推進				●														●	生涯学習課、図書館課
2 歴史・文化・芸術の振興				●														●	生涯学習課
第2章 健康・医療・福祉を元気に暮らせるまち																			
第1節 健やかな暮らしと医療の充実																			
1 健康づくりの推進			●		●														健康課
2 地域医療体制の充実			●															●	健康課、市立病院管理課・医事課
3 市立病院の充実			●															●	市立病院管理課・医事課
第2節 安心して暮らせる地域福祉																			
1 地域福祉の展開			●								●							●	生活福祉課
2 高齢者福祉の充実			●								●	●						●	高齢福祉課
3 障害者(児)福祉の充実			●	●							●	●						●	障害福祉課
4 生活の安定と自立への支援の充実	●	●	●								●							●	生活福祉課
第3節 公的医療保険と年金制度の推進																			
1 公的医療保険と年金制度の推進	●	●									●							●	保険年金課
第3章 環境・経済・観光・水と緑を元気に暮らせるまち																			
第1節 地域循環共生圏形成の推進																			
1 環境負荷の低減と地球温暖化対策の推進				●		●					●	●	●					●	緑と環境課
2 循環型社会づくり					●	●		●			●	●	●					●	生活環境課
3 良好な生活環境の保持・増進			●		●						●	●	●					●	生活環境課
4 生物多様性の保全			●		●						●							●	緑と環境課
第2節 豊かな水と緑のあるまちづくり																			
1 自然環境の保全と緑の創出					●						●							●	緑と環境課、まちづくり計画課
2 水と緑・公園の魅力の向上											●							●	緑と環境課

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	主な担当課	
10. 人や国の不平等をなくそう																			
11. 住み続けられるまちづくりを																			
12. つくる責任つかう責任																			
13. 気候変動に具体的な対策を																			
14. 海の豊かさを守ろう																			
15. 陸の豊かさを守ろう																			
16. 平和と公正をすべての人に																			
17. パートナリシップで目標を達成しよう																			
第3章 環境・経済・観光																			
第3節 活力あふれるまちづくりと魅力の発信																			
1 持続可能な都市農業の振興		●							●				●					●	経済課
2 商工業の活性化									●	●								●	経済課
3 スポーツ・レクリエーション活動の振興			●															●	スポーツ推進課
4 賑わいの創出による観光のまちづくりの推進									●									●	観光課
第4章 都市基盤整備・消防・防犯・安全で元気に暮らせるまち																			
第1節 安心して暮らせるまちづくり																			
1 計画的で適切な土地利用の推進						●						●						●	まちづくり計画課
2 市街地の整備				●								●						●	区画整理課、まちづくり計画課
3 市街地の再生												●						●	まちづくり再生課
第2節 便利で快適な生活環境の整備																			
1 道路環境の向上				●								●						●	土木課、まちづくり計画課、管理課
2 交通環境(モビリティ)の向上				●								●						●	まちづくり計画課、管理課、土木課
3 衛生環境の向上									●						●	●		●	下水道課
4 総合的な水害対策の推進												●						●	土木課、管理課、下水道課
第3節 安全で安心な暮らしを守る対策																			
1 消防体制の充実	●											●						●	消防総務課、警防課、防災課、予防課
2 救急医療体制の充実												●						●	警防課、市立病院管理課・医事課
3 地域防災活動の推進	●											●		●				●	防災課
4 防犯活動の推進												●						●	総務契約課
5 安全で安心な消費生活の推進											●							●	市民協働課
第5章 市民・行政・民間でつくる持続可能な市民のまち																			
第1節 互いに尊重し合う意識の醸成																			
1 互いに尊重し合う意識の醸成						●	●											●	市民協働課、総務契約課
第2節 コミュニティの充実と交流の推進																			
1 コミュニティの育成支援																		●	総務契約課、市民協働課
2 都市間交流・多文化交流の推進						●												●	市民協働課、企画政策課
第3節 市民が参加するまちづくり																			
1 市民と行政の情報の共有																		●	秘書広報課、ICT推進課、文書法制課
2 市民協働の推進																		●	市民協働課
第4節 持続可能な自治体経営																			
1 健全な行財政運営																		●	企画政策課、財政課、財産管理課、建築保全課
2 行政サービスの向上を担う人材の育成と配置						●					●							●	人事課
3 情報システムを活用した行政サービスの向上																		●	ICT推進課、企画政策課

第五次稲城市長期総合計画

発行日 令和3年3月

発行 稲城市

〒206-8601

東京都稲城市東長沼2111

電話 042-378-2111 (代表)

<http://www.city.inagi.tokyo.jp>



市ホームページ



第五次稲城市長期総合計画

inagicity

